

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム
派遣先機関等利用マニュアル

2012年 10月 10日

派遣者氏名（専門分野）	佐藤 由隆 （ 中国哲学 ）
-------------	----------------

派遣期間	2012年 9月 9日 ～ 2012年 9月 19日
------	----------------------------

派遣研究機関

国	都市	訪問機関
台湾	台北	国立台湾大学図書館（特蔵資料区）

利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法等を記入）

台湾大学図書館の中でも、派遣者の利用した特蔵資料区（5階）について、今回知り得たことを紹介する。

〈利用まで〉

- ・台湾大学の最寄駅は捷運（新店線）の「公館」駅。図書館は大学正門より入り、道なりに直進した先にある。
- ・図書館の入館手続きは現地ですぐに可能。1階の入口ゲート（図書館門禁管制口）の右手にあるPCにて必要な情報を入力して申請し、ゲートにて身分証と引き替えに臨時の閲覧証を受け取る。この身分証はパスポートでよい。名前・住所等、ローマ字入力可。
- ・利用時間が他の階と異なる。月曜から金曜までは8:00~19:00、土曜は8:20~17:00。日曜は利用できない。
- ・特蔵資料区は鞆等の持ち込みが禁じられているため、資料区に入る際は入口横のロッカーに預ける必要がある。その他、入館の前に地下にあるロッカーを利用するという方法もある。
- ・資料区に入ると同時に、受付で閲覧証を「特蔵閲覧証」と交換する。
- ・HPに、台湾大学専用の蔵書検索システム（TULIPS）がある。これにより善本を含む、全ての蔵書を検索できる。なお、トップページの「特色館蔵」→「特蔵資源」から、善本を含む貴重文献のリストを見ることが可能。善本を搜索する場合は『国立臺灣大學圖書館增訂善本書目』（大阪大学図書館にあり）も利用すると便利である。

〈閲覧申請およびコピー申請〉

- ・閉架資料については、受付にある「国立台湾大学図書館特蔵資料調閲単」に必要事項を記入して申請する。書式はHP上でも確認できる。
- ・閉架資料は微縮資料（マイクロフィルム）のみコピー可^{*}。A3は1枚7元、A4は1枚5元。資料の1巻につき5頁、すなわち2葉半まで可能。印刷後、受付にて申告して代金を支払う。

〈その他〉

- ・資料区内右奥の台湾資料開架区および総合資料区の資料は内部にコピー機があり、自由にコピー可能。ただし、1階もしくは2階のコピーコーナーで事前にカード（100元77枚）を購入しておく必要がある。もしくは、悠游カードでのコピーも可能である。

・台湾大学と中央研究院との間でシャトルバスが運行されているので、中研院滞在中は利用すると便利である（中研院は郵便局前、台大は総合教学館前にバス停がある）。ただし満席になり次第、それ以上の乗車は断られるため、早めにバス停に到着しておくことが望ましい。

※ この件に関しては拙い交渉による行き違いが生じた可能性もあるため再確認が必要である。

（国立台湾大学図書館URL→<http://www.lib.ntu.edu.tw/>（2012年10月8日現在））